

星花きらめく



令和2年7月15日(水)

長野市立裾花中学校

NO. 7

☆ 1学期末を迎えます ☆

先週末、1学期期末テストが終了し、残すところ今学期も今日を入れて10日となりました。新型コロナウイルスの影響で夏休みが短縮されたため、終業式は7月30日まで伸びてはいますが、あと10日足らずで終わってしまうかと思うと、この1学期は本当にコロナに翻弄された学期だったように思います。そして、「これから経済再生に向けてさあ出発!」と思った矢先、早くも第2波の予兆が見え隠れしている感があり、まったく予断を許さない状況です。

そんな中、生徒の皆さん、保護者の方々には、本当に本校教育活動にご理解・ご協力をいただき、心から感謝いたします。

今後の状況により、さらにご協力を賜らなければならないことがあります。今後ともよろしくお願いいたします。



【保護者向け校長講話（各学年PTAに寄せて）】

一斉臨時休業が開け、6月1日より令和2年度の裾花中学校が本格的に始動し、一ヶ月半が過ぎようとしています。学校再開後、ここまで、ほぼ毎日、6時間授業が続いています。例年の4月であれば、年度当初の会議、修学旅行等により、3時間授業や5時間授業があり、大型連休もあります。また、6月であれば、壮行会、参観日等により、4時間授業、5時間授業があるのですが、今年度はそれが全くなく、ただひたすら授業の日々が続いています。そして、部活動の開始、1学期期末テストがあり、今後、代替大会も始まります。

生徒の疲れがピークに達していることと思いますが、あともう少しで夏休み。生徒、職員で、もうひと頑張りしたいと思います。

※これも「例年であれば」という前置きの上での話しですが、第1回目の地域公開日に、校長が学校運営について話す時間をいただいていた。しかし、今回は、学年PTA、学級PTAの時間を確保するため、割愛しました。そこで、学校便りとして出させていただきました。

1 学校長の教育理念

「人・時のつながりの中で、

自ら考え、判断し、行動する生徒（「自立」した生徒）を育てる」

何が正しく、何が間違っているかを考え、判断し、自らが正しいと思う行動をとることのできる生徒を育てていきたい。それは、単に教師の指示通りに行動する生徒ではない。自らが安全で安心な学校生活とはどのようなものかを考え、どう行動すべきか判断し、そして、互いに律しながら行動する生徒である。

自分で考えず、他人に同調することは良くないことだが、自分の考えがあっても、周りの空気、隣の人の行動を気にし、流されることはもっと良くないことであり、その最たるものが「いじめ」だ。一人ひとりが自分で考え、判断し、行動すれば、1対1のけんかはあったとしても、1対多数というような「いじめ」はなくなるはずだ。「いじめ」を含め、社会で認められないことは、学校でも認められない。「だめなものだめ」と言える生徒を育て、互いに間違いを指摘し合える関係を作っていきたい。

また、トラブルに直面した際、人はその責任を他に求めることが多い。しかし、それでは何も解決しないことを、多くの人を経験していると思う。では、どのようにすればトラブルを乗り越えることができるのだろうか。他が変わることをじっと待つのではなく、自らを変えていくのだ。最終的に得たい結果（姿）を明らかにし、それに向けて自らがどのように行動すれば良いか考え、判断していくのだ。もちろん、多くの人に相談し、アドバイスをもらいながら考え、判断し、行動していくのだ。



2 学校教育目標と本校がめざす生徒の姿

敬愛：深い思いやりをもって自他を大切にする生徒

自律：自分の生活を見つめ、よりよく生きようとする生徒

丹精：課題をもって学び、自分を磨き鍛える生徒

3 本年度の重点目標

※ 新型コロナウイルス感染症を踏まえ、グランドデザインから少し変えています

重点1：人づくり

グループ担任制の導入、校内中間教室の設置等、校内の支援体制を整え、生徒の自己有用感や自己肯定感を高める。

- ①グループ担任制の導入により、より生徒一人ひとりの実態や願いに対応することのできる支援体制を整える。
- ②特別支援学級の活用、校内中間教室「ふれあい教室」の設置、夜学の実施等、生徒の実態に即した居場所づくり、学びの場の提供に努める。
- ③生徒・保護者アンケート、生徒相談の時間を生かして生徒理解に努め、生徒の自己有用感を高め、自己肯定感を高めるよう取り組む。
- ④「裾花中学校人権宣言」を常に見返し、命の尊さ、人権の重さを確かめ合う。

重点2：授業づくり

共に学び合うインクルーシブな教育を推進し、個別最適化された授業の実現により、学力の定着を目指す。

- ①共に学び合うインクルーシブな教育を積極的に推進し、個別最適化された授業を目指す。
- ②教科の枠を越えたグループでの研修により、「主体的・対話的で、深い学び」にかかわり「主体性」を伸ばす実践を積み重ね、生徒一人ひとりに未来を切り拓く学力の定着を目指す。
- ③「教えてもらう」から「自ら学ぶ」という意識を育て、生徒主体の授業、家庭学習の実践に努める。

- ④全国学力・学習状況調査、NRT等の学力検査や定期テストの結果を分析し、授業改善に取り組む。

重点3：学校づくり

保護者や地域と連携し、教育力を取り入れながら、落ち着きと活気を両立する、「安全・安心な学校」を目指す。

- ①第62期生徒会スローガン「裾花改革」を掲げ、「未来へつなぐ新たな柱、あいさつ・清掃・給食」の実現を目指す。
- ②あいさつ、給食、清掃、チャイム前着席など、本校が大切にしてきたことを徹底し、落ち着きのある学校を目指す。
- ③小中連携教育、地域に貢献し、地域を元気にするコミュニティ・スクールに取り組む。
- ④部活動については、職員は研修等で指導力の向上に努めると共に、ボランティアや部活動指導員の活用等、地域の力を積極的に活用する。また、地域での活動（社会教育等）の拠点づくりに向けて、地域と協働する。



4 その他

○グループ担任制（1・2年）

1年生は、1・2組、3・4組、5・6組を、2年生は、1・2組、3・4組、5・6・7組をグループとして、担任と副担任が、それぞれのグループの教科担任を務めるようにし、生徒理解を深め、支援体制を構築する。

2学期以降は、生徒の様子を見極めながら、学級担任以外の職員が給食指導、清掃指導、短学活に入ることを計画している。

学級担任はもちろんだが、グループの職員、学年主任、そして、学年の職員全員で生徒の指導に当たる。

○部活動

日々の活動については、県教育委員会や市教育委員会の方針に沿ったものとし、

- ・月・火・木・金 放課後 最長2時間の活動

（新人戦やコンクール・発表会が終了した部活動より、活動終了時間を変更する）

- ・土・日のどちらか3時間の活動

（祝日の活動は可）を原則とする。

平成27年度823名の生徒が在籍していたが、今年度は653名の在籍となっている。生徒が少なくなり、職員も減ってきている。今年度も平成27年度と同じ19部活動で活動しているが、今後、部活動の見直しは必須となる。しかし、生徒の個性の伸張のためには様々な選択肢があることが望ましいと考えているので、地域の社会教育活動との連携も視野に入れながら、検討を進めていく。

一方、社会教育活動については、部活動を延長するものは認められない。そこで、昨年度より、安茂里住民自治協議会と共に、学校から独立した社会教育活動の設立について検討を始めている。

○教育相談等

心配ごと・悩みごとがある場合、前述の学級担任や学年職員の他に、「相談窓口」として西澤友子（養護教諭）、小伊藤裕子（養護助教諭）、廣田和彦（教務主任）の3名をおいている。特に、スクールカウンセラー等に関する内容は、西澤・小伊藤まで連絡をいただきたい。

なお、午後7時～午前7時半までは留守番電話対応となる。ご承知おきいただきたい。

◇学校からのお知らせ◇

今後の行事等に関わりまして、ある程度決まってきたことについてお知らせします。

（※なお、以下の内容は7月15日現在のものであり、今後の状況により変更する場合がありますので、ご了承願います。）

【1学期通知表について】

一斉臨時休業のため、1・2年生の中間テストがなくなったり、教科によっては通常一斉登校が始まって生徒の体調面や感染拡大防止の観点から活動が制限されたり、という状況を踏まえての通知表作成となります。

今回、通知表の評価・評定について、各教科会および学校で検討した結果、「音楽」については評価・評定ともに、「保健体育」については評定をつけないことにしましたので、ご承知おきください。また、技術・家庭科については、例年1学期の通知表欄には評価・評定をつけず、2学期および3学期に評価・評定を行っておりますので、併せてご理解いただければと思います。

【文化祭（星花祭）について】

生徒会係および3学年、そして学校で検討してきた結果、今年度の文化祭（星花祭）は、「1日開催で実施する」とこととしました。開催日は、現段階で「10月2日（金）」の予定です。これにより、当初10月5日（月）は振替休日でしたが、通常登校日となります。

文化祭（星花祭）の内容や日程、保護者の方の参観等については、現在検討中です。本来ならば土曜日に開催し、一般公開したいところですが、保護者の方の入場を制限したり、状況によっては保護者の方の参加を遠慮していただいたりすることも考えています。例年通りに行うことは非常に厳しい状況にあります。いずれにせよ、今後の状況を見ながら決定していきますので、決まり次第、連絡させていただきます。

【夏季交流大会について】

7月23日（木）～8月2日（日）に、中体連夏季大会の代替大会である「夏季交流大会」が、各競技専門部の計画により実施されます。詳細については、各部より「実施引率計画」などがご家庭に配布されますので、そちらをご覧ください。

なお、「無観客を原則とする」とことになっておりますが、保護者の応援参加等についても、各競技専門部によって違いがありますので、その指示に従っていただきたいと思っております。ご理解とご協力をお願いいたします。

セクハラや生徒に関わる相談窓口は、
西澤 友子（養護教諭）
小伊藤裕子（養護助教諭）
廣田 和彦（教務主任） です

長野市立裾花中学校 文責 市川 寿（教頭）
電話：026(226)1804
FAX：026(226)1881
電子メール susobanajh@nagano-ngn.ed.jp
HP：http://www.nagano-ngn.ed.jp/susobanajh

